卒業論文

漫画『僕のヒーローアカデミア』から読み解く「自由」の社会学的考察

九州大学 文学部人文学科 人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

2019 年度入学 1LT19019P 温水聖太

要約

本研究では、2014 年に集英社の漫画雑誌である『週刊少年ジャンプ』で連載が開始され、2022 年 12 月時点で累計 36 巻も刊行されている集英社の漫画『僕のヒーローアカデミア』から「自由」の概念を社会学的に考察する。

私たち人間は、社会の中に存在している。社会の中にいる私たちは自由であったり、自由でなかったりすると一般的に考えられている。しかし、ある個人が「自由である」とはどのようなことであり、そしてどのようなときに「自由であること」が実現されるのだろうか。自由という言葉は日常生活において自明のものとして利用されているので、社会学的な研究では自由についてこのような問いかけがなされる研究は数多くない。ところが、この自由という概念は様々な問題を含んでおり、再度検討することは社会理論にとって有意義な作業となる。自由に関する論文や辞書、定義は世の中に数え切れないほど存在するのに、どうしてその定義を再度一から確立し直す必要があるのだろうか。むしろ、そのような状況だからこそ、確固とした新たな定義を確立させることが必要不可欠である。

第一章の「はじめに」では、本研究の目的を簡潔にまとめた。本研究の最大の目的は、自由に関する社会的な関心は依然として高いにも関係なく、現在出回っている情報には著しく正確性に書けるものや明白な虚偽が少ないからである。その結果、自由に関する知識や定義が改善されないまま世の中に流出し、庸劣した自由の実像に合致しないイメージが拡散される可能性がある。自由に関しては多数の論文が存在し、日本語でも詳細に情報が得られるようになっている一方で、情報が錯綜してその全体像を概観することが不可能になっている。そこで、本研究では自由を再度問い直す形で論証を進める。本論文ではその手段として、集英社の漫画『僕のヒーローアカデミア』を採用する。

第二章の「先行研究」では、漫画の研究に入る前に、従来の漫画研究における成果を簡潔に紹介する。先行研究ではミルの『自由論』を取り上げた。ミルの『自由論』を取り上げた最大の理由は、ミルの『自由論』で取り上げられている最も重要な命題が、漫画『僕のヒーローアカデミア』の個性と自由、それを拘束する規則の関係性を考察するのに最適だからである。ミルの『自由論』の概要とそこで取り上げられている学術的な議論、『自由論』の問題点を中心に取り上げた。ミルの『自由論』で取り上げられている命題は、社会的自由と社会が個人に対して正当に行使し得る権力の本質と諸限界である。ミルは功利主義の観点から自由について論じられており、自由に対する 1 つの答えとして個人が個性を発揮して、他者を害することなく個人がそれぞれの多様な幸福を追求できるような環境にすることを提示した。しかし、ミルの『自由論』には問題点がある。より詳細に言及すると、ミルの『自

由論』は功利主義の影響を受けており、その功利主義には問題点が存在する。最大の問題点の一つとして、社会に個人の行動が制限されることという問題が考えられる。

第三章の「『僕のヒーローアカデミア』の概要説明」では、漫画『僕のヒーローアカデミア』を本研究で取り上げる理由を簡潔に説明し、それに関するあらすじや物語の簡潔な流れ、漫画に登場する重要人物を取り上げる。本章を設けた最大の目的は、漫画『僕のヒーローアカデミア』を知らない読者でも漫画の内容を理解できるようにするためである。

第四章の「作品分析」では、漫画『僕のヒーローアカデミア』で個人の主観で自由と関連性が非常に高いエピソードを4つ列挙してあらすじを解説し、ミルの『自由論』で提示された議論と課題点の関連性について言及する。取り上げるエピソードは保須事件、内通者発覚、神野区の悪夢と、漫画の登場人物である死柄木弔の言動である。これや 4 つのエピソードと、ミルの『自由論』で提示された議論と課題点を照合させて、それぞれのエピソードに込められた問題点を論証する。

第五章の「総括」で、本研究の総括と本研究の課題点を総括し、本論文を締めくくる。

キーワード：自由、功利主義、個性、無個性、規則、基本的人権、支配、多数者の暴虐、暴力、他者危害原則

目次

1. はじめに 1

2. 先行研究

1. 従来の漫画研究で取り上げられてきた命題 4

2. 漫画『僕のヒーローアカデミア』を取り上げる理由 8

3. これまで社会学で考察されてきた自由とは 9

4. ミル『自由論』の概要・要約 12

5. ミル『自由論』の問題点に関する考察 22

3. 漫画『僕のヒーローアカデミア』の概要説明

1. 漫画作品のあらすじ 24

2. 作中で登場する専門用語・登場人物一覧 31

4. 作品分析

1. 保須事件(原作第 6 巻～第 7 巻) 40

2. 内通者発覚(原作第 34 巻) 43

3. 神野区の悪夢(原作第 9 巻～第 11 巻) 49

4. 死柄木弔の言動(原作第 3 巻、第 25 巻) 54

5. 総括 57

参考文献・論文一覧 58-59